

第8号

定価1年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel. 0139(52)0858 FAX (52)1490
発行責任者 石橋英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

「忙しすぎる」教職員の実態が 明らかに！ ～「全教勤務実態調査2012」中間報告～

私たちが教職員が、本当にやって欲しい「勤務実態調査」は、

「不適切」を炙り出すことではなく、こういうことです！

全教では、二月一六日付
で「全教勤務実態調査2012」
12(以下「勤務実態調査」)
の中間報告を行いました。
全国から6393人(一月
末現在)のアンケートが寄
せられ、先頃、それをもと
に、分析しました。

時間外勤務の平均は？
その中で、教職員の一ヶ
月の平均時間外勤務時間は、
平日54時間17分、土日
14時間48分。合計69
時間05分になっています。
これは、持ち帰り仕事は入
れていません。しかも、上
位25%は、91時間0分
以上も時間外勤務をしてい
ます。

過労死ラインは80時間
厚生労働省では、「過重労働による健康障害防止のための総合対策」(平成一八年三月一七日)を策定しています。その中で、「事業者は、実際の時間外労働を月45時間以下とするよう努めるもの」とあり、さらに過労死ラインとして2〜6カ月

間に1カ月あたり80時間と述べています。
しかも、教員は基本的に残業しないということになっていきます。4%の加算額があるとはいえ、月にのべたとしても、一日当たり20分は越えませんが、この実態を放置し続けた教育政策

しかし、多くの教職員は、このような実態を知りつつも、時間外で働きま
す。それは、目の前に子どもがいるから
です。放っておけない現実もまた教
職員にはあるのです。これは、さまざま
なシステムの問題もありますが、この
実態を放置し続けた日本の教育政策に、
もともと大きな問題があります。

管理責任も問われる
この「勤務実態調査」で、もともと
深刻なことは、やはり、教職員は時間
外勤務があまりにも多く、「健康障害
のリスク」が高くなっているという事
実です。万が一のことが起きては取り
返しがつきません。もちろん、管理者
は、労務管理を怠ったとして、管理責
任も問われます。

諸外国では・・・
PISA(OECD 生徒の学習到達
度調査)で上位のフィンランドと比較
しますと、下表のようになります。

フィンランドと決定的に違うのは、
日本は、しつけや部活動等、多岐にわ

たる仕事を一人の先生がこなしてい
るといふ実態があります。このことも
含め、4人のうち3人が仕事量が多い
と感じているのは、諸外国と比べても
異常な事態と言わざるを得ません。

比較項目	日本	フィンランド
学校を出る時刻	午後7時02分	午後2時57分
夏季休暇	5.7日	63.2日
文書等作成	10.7回/月	1.1回/月
帰宅後から就寝までの時間	3時間53分	7時間13分
仕事量が多すぎると感じる割合	74.2%	2.9%

教育総研「教職員労働国際比較研究会報告書」より

が必要なことも明らかにしてきた
ことを述べておきます。
健康を害す教職員
ここ檜山でも、健康を害す教職員の
様子が聞こえてきます。また、調査の
段階には至っていませんが、入院や長
期休業も含め、多くの報告が寄せられ
ています。また、かつて、ともに同僚
として、汗を流した管理職の方々の働
き方の苛酷さも心配です。

働き方も「学校づくり」の論議に
数値だけではなく、実感も含め、学
校で働く人々の過重な勤務実態は、深
刻です。「みんなが通いたい学校」「み
んなが働きたい学校」「みんなが学び
たい学校」にするためには、教職員の
働き方も「学校づくり」にきちんと位
置付けることが重要です。

みんなでも共有し、渾身の一票を！
日本の教育予算の水準は4年連続
OECD諸国で最下位です。教育予算
抑制を続ける政治、そして、このよう
な実態を放置するだけでなく、さらなる
管理統制を強いる、教職員の心身を
ボロボロにする政治にノーを突きつ
けなければなりません。私たちの切実
な「声」が届く政治が望まれます。来
たる二一日(日)の参院選があります。
このような事実をみんなでも共有し、渾
身の一票を投じましょう。

大胆な整理が必要なこと
先ほどの「勤務実態調査」でも、「減
らすべき仕事」として、「資料や統計
作成、報告提出など」文書作成等が1
位にあげられています。多忙感をうむ
業務として、「勤務実態調査」からも
国際比較からも、この「資料、統計作
成、報告書提出」などは、大胆な整理

夏だ!民間サークルで学び、2学期の授業に生かそう!!

研究会	日時	内容	会場	記念講演	参加費
社会科学教育・歴史教育 全道研究集会～芦別ま るごと授業づくり～	7/27 13:00～ 7/28 10:30～ 7/29 9:00～	プレ企画・芦別大発見フイ ールドワーク講座・コース 別授業づくり・授業発表会	芦別市 星の降 る里百年記念館	なし	28/29¥3000 27日プレ企画 別
自然科学教育研究 全道大会 (阿寒)	7/28 13:00～ 7/29 9:00～ 7/30 9:00～	ワークショップ・分科会・ エコミュージアム見学・フ ィールドワーク (雌阿寒)	阿寒温泉 阿寒 ロイヤルホテル	なし	会員¥3,000 会員外¥3,500
北海道作文教育研究 日高・浦河大会	7/29 9:00～ 7/30 9:00～	公開授業・開会集会・講 座・分科会記念講演	浦河町立浦河第 一中学校	「子どもが書きたくなると き」小宮山 繁 (京都綴方会長)	¥4,000
道民教教研 おたる集会	8/1 10:00～ 8/2 9:00～	講座・記念講演・分科会 全体企画	共育の森学園 (旧小樽短期大)	「教師を生きる“哲学”を探 して」佐藤 博 (教科研常 任・千葉大講師)	¥4,000 1日¥2,500 ¥2,000
新英語教育研究会 全国大会 (札幌)	8/2 12:30～ 8/3 9:00～ 8/4 9:00～	記念講演・講座・実践レポ ート・ポスターセッション 分科会・ワークショップ	かでる2・7 市立札幌大通高 校	「当たり前の暮らしを求め て」倉本 聡 (脚本家・劇作家・ 演出家)	教員 ¥8,000 1日 ¥4,000 非常勤¥4,000
登校拒否・不登校問題 全国のつどい in 北海道	8/3 12:30～ 8/4 9:00～	記念講演・分科会・基礎講 座	十勝川温泉ホテ ル大平原	「未来は現在の中にある」 横湯園子 (元北海道大学教授、 臨床心理士)	¥4,000 1日¥3,000
数学教育協議会 全国研究大会	8/6 10:00～ 8/7 9:30～ 8/8 9:30～	講座・記念講演・分科会	定山溪万世閣ホ テルミリオーネ	「The Better Angels of Our Nature」秋葉 忠利 (前広島市 長、広島大特任教授、数学者)	¥6,000 (早割有)
北海道保健サークル 研究大会 (大沼)	8/7 13:00～ 8/8 8:45～	講演・講座・サークルの広 場・分科会・	グリーンピア大 沼	「コミュニケーションを考え る」伊藤 明美 (藤女子大学教 授)	会員¥3,700 会員外¥4,000 講演のみ¥1,000

詳細は、民間サークル員、もしくは組合員か檜山教組 (0139 - 52 - 0858) まで

太田一徹氏講演 その2

強く「速く」「正しく」「素直」

を求められる今の社会の中で

今の自分

札幌市・白石区・本通小四年
阿部 美侑

私は、どこにいても一人でなにをしようか悩まわ
らない。みんなには、「いい子」「頭いいね」といわ
れるけど、そんな「いい子」っていわゆるそんな自分
が好きになれない。

勉強の時でも、できるかなってふあんになったり、
たまに一人ぼっちでさみしいなって、そんな自分が思
うように生きられない自分がもどかしくてしようがな
くて、どうやったらみんなにみとめられてもらえるん
だろう、どうやったらすなおになれるんだろうと毎日
考えていても自分の答えが見つからないんだけど、先
生や親にいろいろなことを思ってたんだけど、いろいろ
くて、それで日記にかこうと思えました。

(指導 太田 一徹)

人間は、悩んだり迷ったりする「揺
れること」って本当に大切な事だと思
います。「揺れること」が自分自身を
見つめることになります。それがこの
作品からもわかります。

今、先生達も子どもたちも「追われ
ているような状態」になっています。
札幌では学校による温度差もありま
すが、研究発表会などがあると、そ
れに追われ、毎年研究会があるよう
な状態の学校もあります。若者達の
会では、リベンジ授業等と年に数回
授業をさせられます。授業の準備等
に先生方も追われ、子どもたちも休
み時間も様々な準備もあり、子ども
たちにもイライラがたまっていしま
す。そういう状態の中では、「子ども
たちをステキだな」と感じる気持ち
が薄れてしまうのではと心配してい
ます。

教職員として押さえておきたい

自分はKYという言葉が嫌いです
が、今、周りの空気を読んで活動しな
いといけない雰囲気の中で、どんど
ん気持ち荒んでいくことも教師とし
て押さえておくべきだと思うのです。

「この子は、学年が進むにつれ、どん
どん変わっていききました。それは、周
りとながれるようになっていき、認
めてくれる仲間の中で、本当の意味で
のリーダーになっていくように感じ
ました。1年生の子とも同じ目の高
さになって話ができるような6年生。
それを周りの子どもたちもきちんと
見て報告します。」

「強く」「速く」「正しく」「素直」に
という事を求められる今の社会の中
で、「弱さ」っていうことこそ、人間
らしいことなのではないかと考えて
います。「速い」と言う事が求められ、
仕事でも何でも速くすることが賞賛
される中で、「できない」というよう
な「弱さ」を見つめることこそが人間
性の本質ではないかと思っています。」